

# 会 議 録

## 1 会議名

平成30年度第8回直江津区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【協議事項】

- ・平成30年度地域活動支援事業について（公開）
- ・自主的審議事項について（公開）

## 3 開催日時

平成30年9月18日（火）午後6時00分から午後7時30分まで

## 4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 青山恭造（会長）、竹内明美（副会長）、増田和昭（副会長）、  
青山義一、磯田一裕、今川芳夫、河野健一、久保田幸正、小林克美、  
坂井芳美、田中美佳、中澤武志、町屋隆之、丸山朝安、水澤敏夫  
（欠席3名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、千田主任

## 8 発言の内容

### 【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【青山恭造会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：増田副会長、丸山委員に依頼

議題【協議事項】平成30年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・資料No.1「平成30年度地域活動支援事業【直江津区】追加募集 採点総括表」に基づき説明

【青山恭造会長】

採点の結果、提案していただいた4件全てが採択となった。採択条件や特記事項等もなかったということだが、何か意見等はあるか。

(特になし)

では採択条件や特記事項は何も付けず、全事業を採択とする。

以上で採択審議を終了とする。

【小池係長】

採点の結果、採択額が154万1,000円となり、残額が5万2,000円となった。残額の取扱いについて協議をお願いしたい。

【青山恭造会長】

追加募集の際、残額があっても3次募集を行わないということを申し合わせている。従って、3次募集は行わないこととする。

(異議なし)

次に【協議事項】自主的審議事項について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・資料No.2「自主的審議事項について」に基づき説明

【青山恭造会長】

自主的審議事項の進め方について何か意見等はあるか。

【中澤委員】

協議する前に確認したいのだが、審議テーマである「消防団のあり方について」の協議の方針に「上越市消防団適正配置検討委員会」とあるが、どのような人がいて、どのような組織なのか教えていただきたい。

【滝澤センター長】

こちらで詳しいことまで把握はしていないが、現在、消防団の団員不足が問われる中で、市では「上越市消防団適正配置検討委員会」を立ち上げ、消防団等からヒアリングやアンケート等を行っており、その結果を踏まえ検討委員会で話し合いを行っている。

話し合いがどこまで進んでいるかが分からないが、その結果を踏まえ地域協議会内で話し合いを行ってみてはどうかと考えている。

**【中澤委員】**

以前、ヒアリングに参加したことがあるのだが、その際、私が意見を述べようとしたが現状だけを教えてほしいと言って遮られてしまった。

意見も聞かないで、どのような目的で現状把握をしたいのかが分からない。どのような人が中心となって、どこまで話し合いが進んでいるのかを知りたい。

**【滝澤センター長】**

次回の協議会までに、どこまで話し合いが進んでいるか確認しておく。

**【青山恭造会長】**

できれば、協議内容も確認していただきたい。

では、自主的審議事項の進め方について意見等はあるか。

**【竹内副会長】**

私は2班だったが、協議する課題について「水族博物館や直江津学びの交流館等、核となる施設を中心としたまちづくり」となっているが、水族博物館もオープンしたので、現在の水族博物館がどうなっているのかを確認しないと話し合いも進まないと思うので、担当課から話を聞くことはできないか。

**【滝澤センター長】**

水族博物館に関しては、駐車場の問題、交通事情の問題等いろいろな意見が出ており、担当課としてもいろいろ検証しているとは思う。事務局からも一定期間を過ぎた辺りで報告していただきたいということは伝えてある。

**【青山恭造会長】**

次回の協議会の際に話し合いの場を持たないか。

**【滝澤センター長】**

担当課と協議し、皆さんにお示ししたいと思っている。

**【町屋委員】**

前回の話し合いから時間が経過しているので、記載されている全ての事項に対して現在どのようになっているかを確認する必要があると思っている。

**【小林委員】**

水族博物館がオープンして2か月以上経つが、皆さんから見て気が付いたことを出し

ていただくのはどうか。私が気になっているのは、イトーヨーカドー近くの交差点である。直進と右折の道路標示はされているが、道幅が狭く、大きな車が右折車線にいと直進車が通れず止まってしまう。すぐ横に空き地があるがそこは市有地だと思うのでそこをうまく活用できないかと感じている。

このように思ったことを地域協議会内でも出し合い、それをまとめて担当課へ聞いたほうが良いのではないかと感じている。

#### 【青山恭造会長】

上越市外から来られる方々からのアンケート等も取っていると思うので、それに対し担当課がどのように思っているのかも聞きたいと思っている。

#### 【増田副会長】

おそらく来館者等からの苦情も入っており、解決している問題もあると思う。まずはそれを報告していただき、その中で私たちが感じていることとは違うこともあると思うので、先ほど小林委員がおっしゃった意見も含めて検討していただいたほうが効率的に進められると思っている。

大半のことは解決していると思うが、竹内副会長がおっしゃったように現状がどうなっているかが把握できていないので、次回の会議の際に問題点をどのように解決したのかということと、担当課として何を問題だと思っているかということについて報告していただきたい。

#### 【丸山委員】

以前、国府小学校前の道路の幅員を広げてみてはどうかということで市が測量を行っていた。幅員を広げるということは決定ではなく、測量の結果や動向調査等を行ってみて対応するという事を担当課の係長が町内会館で話をされていた。水族博物館の開業後のデータもあると思うので、それを知りたい。

#### 【磯田委員】

以前から「直江津まちづくり構想」というテーマを掲げ協議を行っているが、協議内容をどうまとめていくか、目指していく方向はどこなのか、という目標は定まっていない。そして、地域協議会として市民の皆さんにどうやって提案していくのかというところまでも至っていない。

大きな課題を掲げすぎており、まちづくり構想に対する考え方も個々に違うため、捉え方に温度差があったり、求めているものが違ったりする。

最初、私はグランドデザイン的なことを謳うべきだとか、形にしたものを市民に提示していきながら提案を求めるといったイメージをしていたが、そこを目指すとなると地域協議会で協議するにはハードルが高過ぎるのではないかと。むしろ皆さんから出してもらった課題を絞って詰めていくとか、もう少し方向性を定めて協議を進めていかないと、どうも議論が拡散していつてしまう気がする。

皆さんがどうやってまちづくり構想をイメージしているのかという話をしてから進めていくのはどうか。

#### 【増田副会長】

直江津区をどのようなまちにしたいのかというようなグランドデザインを私たちが考えたり、実施したりするのは無理である。これから高齢化が進み人口も少なくなっていく。その時、このまちを住みよいまちにするにはどうしたら良いかという観点から考えていけば、いろいろと身近な問題が出てくると思っている。地域協議会はそのを考える機関であり、「空き家が増えてきたが、どうするか」、「人口が減るとこういう現象が起きるが、そのために私たちは何をどうしたら良いのか」ということを考えていったほうが、より身近だし、住民の皆さんにとっても非常に分かりやすい問題なのではないか。

具体的に言うと、町内会に関しては高齢化が進み班長をする人がいなくなっていておりに行事を行えないという問題が出ているようである。地域協議会で解決する問題ではないが、町内の現状を認識していきながら、どのようにしていくかを皆さんで考えていけば良いのではないかと考えている。

私たちの任期はあと1年半しかない。どこまで話し合いを行い、到着点をどこにするかということを考えておかないといけない。そして、具体例を挙げると厚生北会館の跡地をどうするのかという問題もある。地域の方々の意見も聴く中で、地域協議会としてどのように進めていくかということも考えていきたいと思っている。

#### 【町屋委員】

まちづくり構想について、それぞれが違う意見をお持ちだと思う。私はいつも「こういうまちを目指したいから、これは喫緊の課題、これは緊急性が低いのではないかと」というような指針がほしいと常に思っている。その指針がグランドデザインなのかもしれないが、グランドデザインと言ってしまうと大きな話になってしまう。だが、形にならなくてもこの場で皆さんと情報共有ができれば、少しずつでも土台となるものができるのではないかと考えながら地域協議会に出席させていただいている。

自主的審議事項についてだが、消防団や防犯灯の設置・維持管理についても大事だと思うが、私たちが中心となって話し合いができないものに関しては中心となっている団体から意見を聞くのも大事だと思っており、そこへ私たちの要望を伝え話し合うのも大事だと思っているので、並行して話し合いをしていく必要があると思う。

消防団のあり方については、直江津区の消防団が不足しているため自主的審議事項として取り上げているが、検討委員会で方向性が出たとしても直江津区として問題解決に繋がるとは思えない。適正配置を考える人がいるから高田の人に直江津を見てもらうという話になるのか。検討委員会で何をしているのかが分からない以上、疑問が増えていくだけなので、私たちの課題を話し合うのと、ほかで何がされているのかというのは並行してやっていただきたい。

資料に出ている文言の現状確認をすればもう少しステップアップできるのではないかな。

#### 【小林委員】

行政側にハード的なものをお願いしてみてもどうかと思っている。

少子高齢化や人口減少の問題に取り組んでも、どうしても抽象論になってしまい、結局結論が出ない。そうであれば行政に即物的に「こんなものを持ってこれないか」と言うだけ言ってみても良いのではないかな。それをこの場で話し合うというのはどうか。

#### 【青山恭造会長】

本日は自主的審議事項の今後の進め方について話し合いを行っている。再度、班毎に分かれて話し合いの行うのか、全体で協議を進めていくのか、資料No.2に出ている意見を1つずつ確認していき、現状を担当課から来てもらい話を聞くのか。

具体的な話をしていただきたい。

#### 【中澤委員】

直江津まちづくり構想については、今まで長い期間を要して話し合いを行ってきた。問題点を洗い出し、それに対して話し合いをし、どのように進めていくか。これを毎年繰り返しているのではないかな。これから班別に話し合ったり、全体で協議をしたりしても結果は一緒なのではないかな。

要するに問題点を洗い出し、問題意識を共有するだけでも良いのではないかなと思う。話し合いを行っていく間で皆さんが納得するような意見が出ればと思っている。それくらいで良いのではないかな。

#### 【磯田委員】

町屋委員が言ったように指針となるべきものを出していくというのが重要だと思っている。

市の上位計画である第6次総合計画の見直しを現在行っているが、私が考えていたまちづくり構想というのは、直江津区だったらその第6次総合計画に対して、どういう具体策があるのかというようなことを話し合っていくのかと思っていた。具体的に実施するのは市民団体等をお願いすることになると思うが、「直江津はこういうことを目指して、こういう計画があり、それに対し直江津区としてこうしていったら良い」というような指針がある程度見える形であれば、自分たちが考えている事業を市民団体の方々に進めていただくというような中間的な指針みたいなものがないかと思っている。

#### 【青山恭造会長】

磯田委員がおっしゃったことについて、次回以降の協議会で班毎に分かれて話し合うのか、全体で話し合うのかを決めていただきたい。

#### 【久保田委員】

資料No.2を見ると大体の課題は絞られてきていると思っているので、具体的なものを出していけば良いのではないかと。

#### 【増田副会長】

全体協議をして皆さんが感じている課題を出してもらおうと把握しづらい点があったため班別で課題を出してもらった。先ほども言ったが、任期があと1年半しかない中で交渉をやっても協議会の開催回数を重ねるだけで全く成果が見られない。そして、複雑なことをやると地域住民の皆さんに示した際、理解していただけないかもしれない。

具体的には、厚生北会館の跡地について、住民の皆さんはどのように思っているのか。何かを造りたいのであれば住民から意見を聴き、行政へ伝えれば良いし、不要であれば現状のままにしておけば良いと思っている。

私は、できるか、できないかは別として、皆さんが思っていることを出し合えば良いのではないかとと思っている。

#### 【町屋委員】

厚生北会館の跡地の話と資料No.2に記載されている課題については別々に協議していったほうが良いのではないかと。直江津まちづくり構想を進めていこうという話をしていっている中で厚生北会館の話もすると、そちらのほうがメインになってしまう気がする。直江津まちづくり構想の中の大きな課題であることは確かだと思っている。

**【増田副会長】**

別々に話し合いをしていく時間があるかということである。

**【青山恭造会長】**

次回の協議会で班別にやるか、抽出された課題について全体で協議するかを聞きたい。

**【小林委員】**

全体で協議し、みんなで共通認識を持っていったほうが良いのではないかと。

- ・小林委員の意見に「賛成」の声が多数

**【青山恭造会長】**

では、次回以降、全体協議を行いたいと思う。

**【増田副会長】**

厚生北会館については、地域の皆さんがどのように思っているか、どんな感触を持っているかを聞いてきてもらいたいと思う。地域の声によって地域協議会として協議を行っていくか、いかないかの判断材料になる。ただ、何かをやりたいということであれば、合併特例債が使える平成32年度までになってしまう。そう考えると今年中に結論を出さないと、どれだけ良い提案があっても何もできなくなってしまう。地域協議会が言い出さないと誰も言い出せないかもしれない。地域の声をまとめて行政にぶつけないと建物は建てられない。

**【磯田委員】**

自主的審議事項については経年協議しているが、あまり進んでいない。次回の協議では、どのような方向性で進んでいくかを話し合ってはどうか。

**【青山義一委員】**

資料No.2に記載されている課題をどのように絞り込んでいくのか。どのように優先順位を付けていくのか。

今後のスケジュールをある程度考え、皆さんが思う重要課題を挙げていただき、その中で優先順位を決めていかないと、いつまで経っても同じことの繰り返しになるのではないかと。

私は次回の協議会で問題点を全体でいくつか挙げていただき、その中から多数決等で選べれば一番良いのではないかと考えている。

**【町屋委員】**

今まで話し合いを行ってきたが形になっていない。だが、無駄なことをしてきたのか



というわけでもない。皆さんとの共通認識が少しでも深まっていったのは間違いがなく、その過程が大事でもある。優先順位を付けてしまったら、それが全てになってしまうが、各委員が考えている優先順位はそれぞれにあって、その思いが共有されていくことで気付かされることもある。優先順位を決めていくことも大事だが、その気付きも大事だと思っている。

**【丸山委員】**

今まで住民や地域団体の方々と一緒になって話し合いを行い、班別に協議をして課題を出し合い、本日、資料No.2のようにまとめてもらった資料が事務局から提示された。この資料を元に次回話し合いを行わなかったら今まで何をしてきたのかということになってしまう。きちんと段階を踏んで進んでいかないと、今まで積み上げてきたものが無駄になるのではないか。

**【青山恭造会長】**

では、次回は資料No.2を元に全体で協議したいと思う。

次に「その他」についてだが、視察研修について事務局へ説明を求める。

**【小池係長】**

視察研修については、11月に実施したいと考えている。行き先としては、自主的審議事項の協議をしていただいているので、日帰りで行ける場所で参考になるような所であれば企画したいと考えている。

まず、視察研修を行うか、行わないかを協議していただき、行うのであれば、どのような内容で行うのかを協議していただきたい。

**【青山恭造会長】**

視察研修についてはどうか。

**【小林委員】**

昨年、群馬県富岡市へ行ってきたが、候補として新潟市秋葉区新津も挙がっていた。多数決で富岡市に決まったが、直江津も鉄道のまちとしていろいろ行っているのので、今年は新津へ行ってみるのはどうか。

**【磯田委員】**

地域協議会として大きな課題があり、それに対して個々に知見を高めるための視察であれば良いと思うが、私としては、そこまで考えている者がなければ視察を行わなくても良いと思っている。もし、視察へ行くのであれば13区内で行っている取り組みや地

域協議会が地域の人たちのどのように関わっているかということ勉強するのはどうか。他区の地域協議会では、どのように地域住民の方々と付き合っているのかというようなことを勉強したほうが良いのではないかと。

**【小林委員】**

頸城区地域協議会で観光協会を立ち上げ、コッペル号を活用したりしているの、その取り組みを勉強するのも良いのではないかと。

**【増田副会長】**

牧区や大島区は空き家問題、人口減少、買い物難民という大きな課題を抱えている。その中で地域の皆さんが工夫をしながらやっておられるので、意見交換を踏まえ視察に行ってくるのはどうか。そして、休耕田が増え、畑や山が荒れており、イノシシや熊等の問題を抱えながら生活していかななくてはならない区もあるため、直江津区は関係ないかもしれないが、共通認識として持つておかななくてはいけないのではないかと考えている。

**【町屋委員】**

休耕田は直江津区として喫緊の課題ではないと思うので、勉強としては新津のほうが良いのではないかと。

**【増田副会長】**

地域協議会として地域の皆さんの生活をどのようにしていくかということ考えた時に喫緊の課題ではないかもしれないが、空き家問題や人口減少、買い物難民というのは明日の直江津区の姿である。それを考えながら、人口減少等が進んでしまっている区はどのように対処しているのかを聞いてくるのも自主的審議を進める上で参考になるのではないかと、提案させていただいた。

**【久保田委員】**

直江津区と同じような規模の地域へ行くのはどうか。鉄道に関しては新津が良いと思うし、まちづくりに関しては塩沢や長野県の小布施がある。

**【今川委員】**

先日、十日町市で「大地の芸術祭」を行っていた。今年は60万人くらい来られたようだが、それだけの人数を引き寄せる魅力は何なのかを聞いてみたい。

私は、あまり遠くへは行かず、市内か近隣の市が良いのではないかと考えている。

**【坂井委員】**

近隣だと、妙高市のインバウンドについては、スキー場へ行くと外国の方々が多くいるが、地元が潤っているのかというのが分からない。

糸魚川市についても、どうなっているのか分からない。

**【田中委員】**

地域協議会として、どこでどのようなことをしたいのかによって視察先が決まると思うので、現時点では、この場所に行きたいという所はない。

**【竹内副会長】**

どこへ行きたいというのはないが、県外へ視察に行きたいと思っている。

**【青山恭造会長】**

いろいろ意見があるが、視察研修の実施について採決をとる。

- ・視察研修の実施について、過半数の者が反対する
  - ・協議の結果、視察研修は行わないことで委員から同意を得る
- 次に次回の協議会について、事務局へ説明を求める。

**【小池係長】**

- ・次回協議会の事務局案：10月16日（火）

**【青山恭造会長】**

- ・次回協議会：10月16日（火）午後6時から
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。